



【発信日】令和6年2月20日

【問合わせ先】

大野市教育委員会事務局

生涯学習・文化財保護課 担当 佐々木、酒井

電話 0779-65-5590 内線 75-215

大野市で新種の小型巻貝「プロバイカリア・オオクライ」化石を発見！

～北陸新幹線県内開業に併せて、くずりゅう化石ラボ ガ・オーノで初公開～

千葉県立中央博物館の伊左治鎮司博士による研究の結果、大野市に分布する手取層群伊月層より新種の小型巻貝化石が発見されました。このたび、その研究成果が日本古生物学会の国際学術誌「Paleontological Research (パレオントロジカル・リサーチ)」に論文として発表され、新種の小型巻貝は「プロバイカリア・オオクライ」と命名されましたのでお知らせします。

記

1 掲載論文

(1) 掲載名 Paleontological Research (パレオントロジカル・リサーチ)

(2) 論文名 Molluscan Faunal Changes from Brackish to Freshwater Deposits in the Lower Cretaceous Itsuki Formation of the Tetori Group, Japan

[和訳：手取層群伊月層（下部白亜系）の汽水成～淡水成堆積物から産出する貝類化石群集の変遷]

(3) 巻号・ページ vol. 28, no. 1, p. 1-25

(3) 著者 伊左治鎮司（千葉県立中央博物館 教育普及課長、博士（理学））

(4) 出版日 令和5年4月5日 オンライン出版、令和6年1月1日 冊子版発行

2 新種の小型巻貝化石について 別添資料のとおり

3 展示について

(1) 期間 令和6年3月16日（土）より ※北陸新幹線県内開業に併せて早期開館

(2) 場所 くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ（大野市朝日25-7）

開館時間 平日（土曜日含む）午前9時～午後4時

日曜日・祝日 午前9時～午後5時

入館料 通常入館料 [大人：300円、中学生以下：無料]

4 取材について 担当学芸員が対応しますので、事前に連絡を下さいますようお願いいたします。

新種の小型巻貝「プロバイカリア・オオクライ」化石について

1. 学名

Probaicalia okurai (プロバイカリア・オオクライ)

※伊左治博士の野外調査に協力した化石ハンターの故・大倉正敏氏（愛知県江南市）に敬意を表して献名

2. 分類

クビキレガイ上科に属する絶滅したグループ

3. 発見地

福井県大野市下山

4. 地層名

手取層群伊月層

5. 時代

約1億2700万年前（前期白亜紀）

6. 特徴

- ・小さく、細長い（大きい個体でも殻の高さが5mmほど）
- ・殻の表面に螺肋（巻貝の成長に伴ってできる横筋）が3本ある
- ・同属の他種との違いは、螺肋が著しく発達し、螺肋の一つは反り上がったりコブ状になる点

7. 発見の意義

大野市に分布する前期白亜紀の地層である手取層群伊月層は、福井県最古の恐竜化石（獣脚類のティラノサウルス類、テタヌラ類、鳥脚類のイグアノドン類）が発掘されることで有名で、勝山市に分布する同層群北谷層では見られない様々な動植物の化石が発見されています。伊月層で発見される巻貝の化石は、目につきやすい大型種はこれまで知られていましたが、小型種はほとんど注目されていませんでした。

小型巻貝のプロバイカリア属は、中国、韓国、ロシア、日本などで化石が発見され、これまでに8種が記載されています。大野市で発見された本属の化石は、螺肋の一つが反り上がったりコブ状になる点で他種と異なることが明らかとなり、日本で初めて本属の新種「プロバイカリア・オオクライ」として記載されました。プロバイカリア・オオクライは、伊月層内の蛇行河川が発達し氾濫原が形成されたことを示す地層から産出することなどから、湖沼に生息した種類だと考えられます。このように、大野市の手取層群における貝化石の調査研究は、東アジアの前期白亜紀の陸域生態系を理解し、当時の福井県の環境がどのように推移したのかを読み解くことにつながっています。

8. 画像



図1. 新種の小型巻貝「プロバイカリア・オオクライ」化石。スケールの1マスは1mmを示す。画像の使用にあたってはクレジット「写真提供 千葉県立中央博物館 伊左治鎮司」の記載を必須とします。

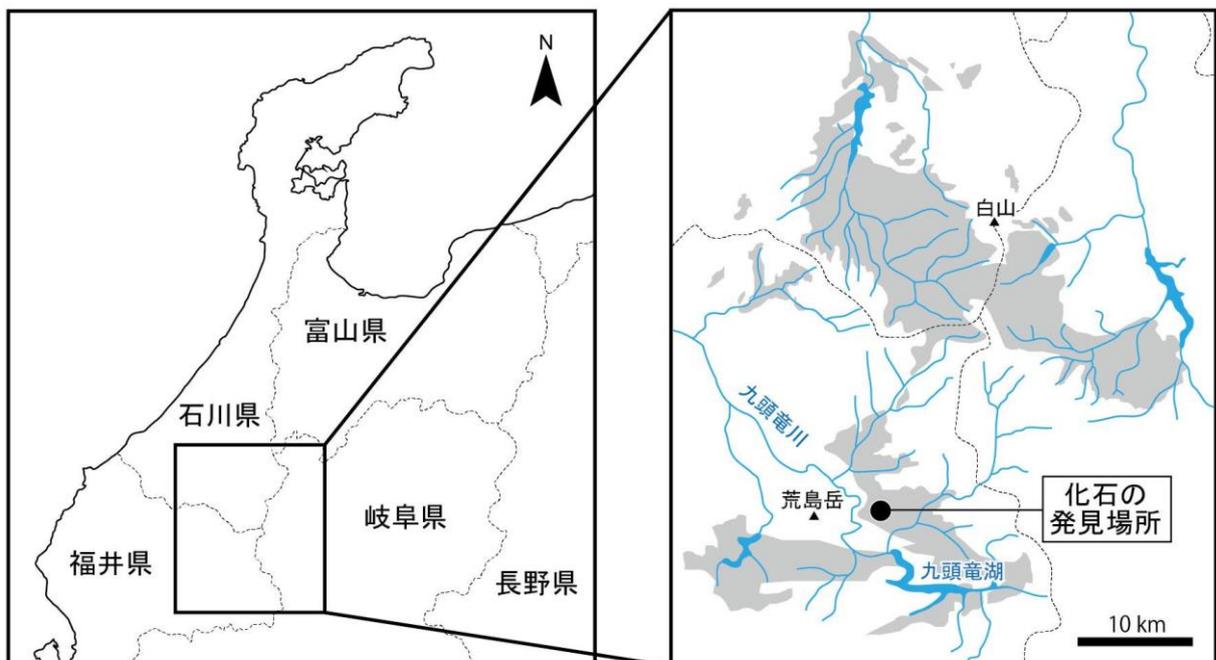


図2. 新種の小型巻貝「プロバイカリア・オオクライ」化石の発見場所。大野市下山の手取層群伊月層から発見された。地図中のグレーは手取層群の分布を示す。

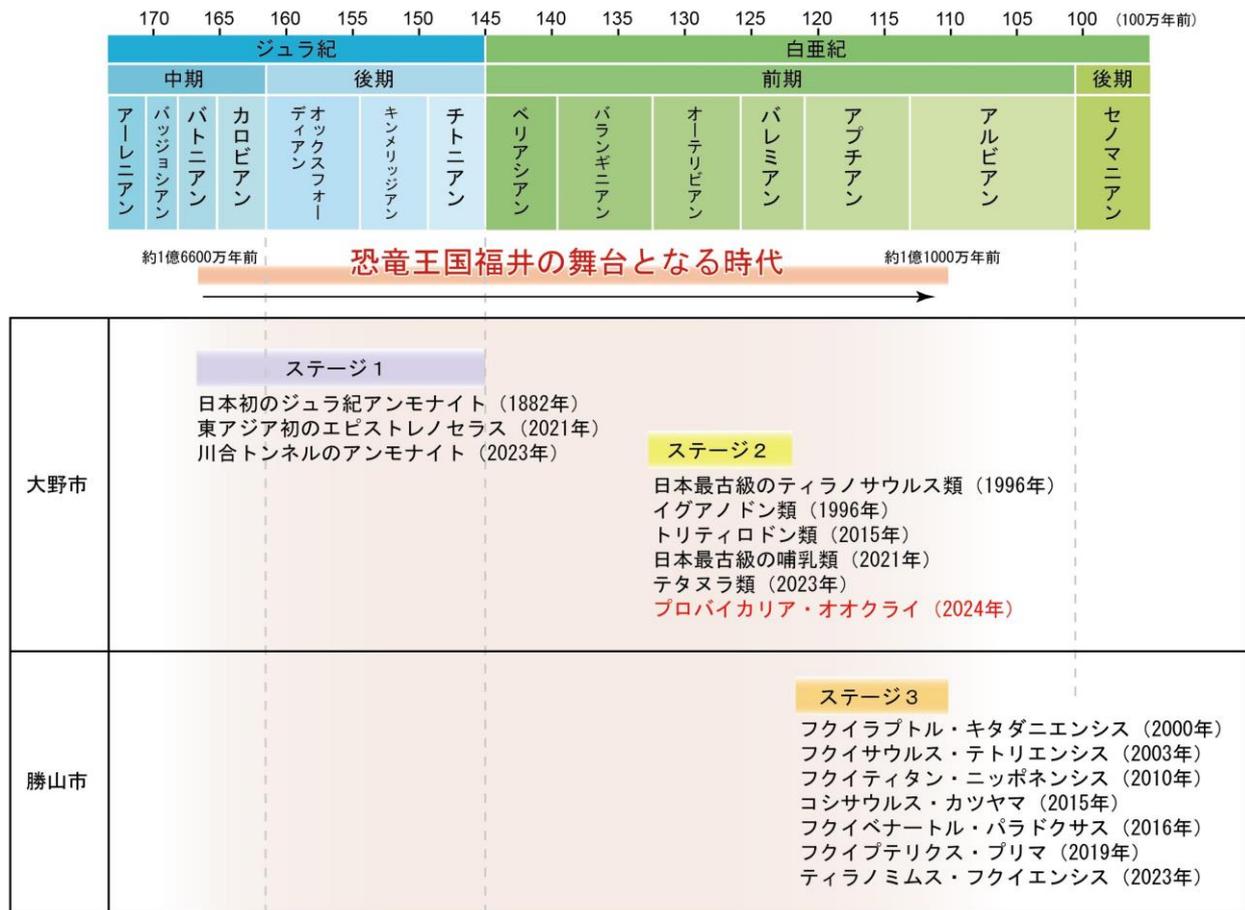


図3. 新種の小型巻貝「プロバイカリア・オオクライ」が生息していた時代。「プロバイカリア・オオクライ」は、福井県最古の恐竜（獣脚類のティラノサウルス類、テタヌラ類、鳥脚類のイグアノドン類）とともに、約1億2700万年前（前期白亜紀）の福井県に生息していました。